

## ジェットスター・ジャパン、初号機が成田国際空港に到着

ジェットスター・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木みゆき、以下、ジェットスター・ジャパン）は、2012年4月26日19時21分に初号機であるA320-200が成田国際空港に到着したことを発表いたします。

初号機はフランスのトゥールーズ・ブラニャック空港を4月24日11時に出発し、カイロ国際空港（エジプト）、マスカット国際空港（オマーン）、ノイバイ国際空港（ベトナム）を経由し、成田国際空港に4月26日19時21分に到着しました。

到着した機体は180席の総革張りのシートを採用しています。本機は、2012年7月3日から順次運航を開始するA320型新造機3機のうちの最初のもので、数年以内には最終的に24機まで増強する計画となっています。5月中、本機は社内訓練や試験飛行等に使用される予定です。

2012年4月17日に発売された、東京（成田）、札幌、大阪、福岡、沖縄の6路線は、同じ路線を運航するFSA（フルサービスエアライン）の半額以下という低価格の運賃を実現しました。

ジェットスター・ジャパンの代表取締役社長である鈴木みゆきは、以下のように述べています。「ジェットスター・ジャパンが日本の主要都市に就航すると、日本のお客様に、新たな選択肢が増えることとなります。日本のお客様に、より便利で快適な空の旅を手軽な価格で提供することを楽しみにしています。」

ジェットスター・ジャパンは、お手軽な価格で安全な空の旅をご提供し、ご家族やご友人など大切な方々との絆を深めるお手伝いをしたいと考えております。

**※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会へ配布しております。**

### 〈ジェットスターグループについて〉

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長しているLCC（格安航空会社）です。ジェットスターグループは日本、シンガポール、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランドに航空会社を有し、2013年には香港（関係当局の承認を前提とする）にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の約60都市に週3,000便を運航しています。2012年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,000万人のお

お客様にご利用いただけると予想しています。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは 2012 年 7 月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間に就航予定の LCC(格安航空会社)であり、2013 年中には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。国内線就航時には、A320 型新造機 3 機(180 席)で運航を開始し、その後 3 年間で運航機材を 24 機まで増強する予定です。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。